

プログラム 会期中随時閲覧可能

講演Ⅱ

会期中随時

司会：前田泰樹（立教大学）

講演 新型コロナウイルス感染症対策に関わって

○ 武藤香織（東京大学）

指定討論：松繁卓哉（国立保健医療科学院）

特別講演

会期中随時

講演 コロナ時代の羅針図

○ 山本太郎（長崎大学）

P1-1 社会における「価値の選択」から考える医療の利用と規制

—生殖医療と尊厳死を例に—

○今井竜也（国際医療福祉大学）

P1-2 慢性疾患を自然体で生きる

—中等度の慢性閉塞性肺疾患を有する高齢男性たちの事例から—

○山村岳央（上智大学）

P1-3 保健を目的にした市販薬の今日的意義についての考察

○松枝亜希子（立命館大学生存学研究所）

P1-4 障害者のニーズ把握に関する設問形式の検討

○北村弥生（元国立障害者リハビリテーションセンター研究所，長野保健医療大学）

P1-5 沖縄における優生保護法廃止の影響

—戦後沖縄の優生手術・人工妊娠中絶数の推移—

○笹谷絵里（花園大学）

P1-6 新型コロナウイルスに関する医学研究論文のタイトルの動向と考察

—計量分析による特徴の可視化—

○加藤寿寿華（慶應義塾大学）

P1-7 特別支援学校における教育－保健－医療の相互関係

—先天性腎不全罹患の高等部生徒への担任，養護教諭，理学療法士の関わり—

○鈴木 哉（神奈川県立金沢養護学校）

プログラム第1日目:5月15日(土)

講演 I

10:30-12:00

司会：本郷正武（桃山学院大学）

講演 保健医療社会学と新型コロナウイルス感染症

○ 美馬達哉（立命館大学）

RTD 1

12:30~14:30

R-1 生きる権利

—医療に関するサービス・研究・教育に当事者・市民参画が必要な理由—

企画者：細田満和子（星槎大学）

話題提供者：宿野部武志（一般社団法人ピーベック）

冲永隆子（帝京大学）

杉原正子（東京医療センター，慶應義塾大学，東京医科歯科大学）

細田満和子（星槎大学）

RTD 2

12:30~14:30

R-2 障害のある子どもたちの“学びの危機”を考える

—COVID-19 がもたらした Learning Crisis とソーシャル・インクルージョン—

企画者：松崎良美（津田塾大学）

話題提供者：柴田邦臣（津田塾大学）

貝原千馨枝（津田塾大学）

濱松若葉（津田塾大学）

鷹田佳典（日本赤十字看護大学）

本郷正武（桃山学院大学）

RTD 3	12:30～14:30	
-------	-------------	--

R-3 コロナ禍における看護・介護領域の移住労働者たち

—国際移動、業務、生活に焦点をあてて—

企画者：大野 俊（清泉女子大学，ハワイ大学）

話題提供者：平野裕子（長崎大学）

マリオ・イヴァン・ロペズ（京都大学）

大野 俊（清泉女子大学，ハワイ大学）

一般演題／口演	12:30～14:30	
---------	-------------	--

●セッション1 病いの記憶

司会：田代志門（東北大学）

1-1 「新型コロナウイルス感染症の語り」データベース構築に向けて

—予備調査の結果から—

○佐藤（佐久間）りか（認定 NPO 法人健康と病いの語りディベックス・ジャパン）

1-2 「不要不急」のなかに病いを記す

—ナショナルセンターに収納された闘病記にみる病い—

○和田恵美子（認定 NPO 法人健康と病いの語りディベックス・ジャパン）

1-3 若年がん患者の社会的イメージの形成

—青年期のがん経験者に及ぼす影響に注目して—

○笠井敬太（大阪大学）

1-4 乳がんの同病者サポートに「職業」として取り組む

○菅森朝子（立教大学）

1-5 身体を「閉じる」と同時に「開く」こと

—アトピー性皮膚炎の掻破行動からの理論的検討—

○加戸友佳子（神戸大学）

一般演題／口演	12:30～14:30	
---------	-------------	--

●セッション2 母子関係

司会：菅野摂子（明治学院大学）

2-1 子どもに対して「育てにくさ」を感じている母親の精神健康の変化と新型コロナウイルス感染症流行時に求められる支援

ー新型コロナウイルス感染症流行前と流行時の比較からー

○木村美也子（聖マリアンナ医科大学）

2-2 同性パートナーと子育て中の女性から見た新型コロナウイルス緊急事態宣言期間中の暮らし

○藤井ひろみ（大手前大学）

2-3 コロナ禍におけるオンラインカウンセリングの可能性

○竹重 幸（京都大学）

2-4 提供配偶子を用いる生殖補助医療の利用を巡る課題

ーオーストラリア・ビクトリア州の事例分析をもとにー

○南 貴子（香川県立保健医療大学）

2-5 障害受容概念に対する見解の比較検討の試み

ー子の障害に関する障害受容地図から見る専門職と当事者の立場ー

○安齋久美子（帝京科学大学）

2-6 妊娠・出産する女性と助産師との関係の成り立ち

ーA 助産所での調査からー

○大和田裕美（静岡県立大学／東京都立大学）

シンポジウム	15:00～17:00	
--------	-------------	--

シンポジウム 回復の語りとコミュニティ：コロナ禍のなかで

コメンテーター: 蘭由岐子（追手門学院大学）

司会: 中村英代（日本大学）

S-1 薬物依存からの回復支援施設・ダルク

○南 保輔（成城大学）

S-2 オープンダイアログとリフレクティング

○矢原隆行（熊本大学）

S-3 ナラティブと共同性

○野口裕二（東京学芸大学）

プログラム第2日目:5月16日(日)

RTD 4

10:00~12:00

R-4 質的研究における記述的解明の位置づけ

企画者・話題提供者・コメンテーター: 細野知子 (日本赤十字看護大学)

杉本隆久 (法政大学他)

海老田大五朗 (新潟青陵大学)

話題提供者・コメンテーター: 村上靖彦 (大阪大学)

鈴木智之 (法政大学)

RTD 5

10:00~12:00

R-5 HPV ワクチンのあり方を考える

企画者: 打出喜義 (金城大学)

話題提供者: 渡部麻衣子 (自治医科大学)

美馬達哉 (立命館大学)

打出喜義 (金城大学)

RTD 6

10:00~12:00

R-6 コロナ禍における生殖の意思決定の多様な在り方

—生殖医療におけるリプロダクティブ・ライツ, セクシュアル・ライツの保障を
考える—

企画者: 入澤仁美 (順天堂大学)

話題提供者: 村岡 潔 (岡山商科大学)

稲垣恵一 (静岡文化芸術大学, 日本赤十字豊田看護大学)

水野 礼 (名古屋市立大学, 名古屋大学)

伊藤ひろみ (クリオス・インターナショナル)

一般演題／口演	10:00～12:00	
---------	-------------	--

●セッション3 当事者活動

司会：心光世津子（愛知医科大学）

3-1 新型コロナウイルス感染症の双極性障害患者への影響に関する研究

－社会的変化の中で症状が緩和される可能性の検討－

○松元 圭（関西大学）

3-2 精神安定剤の処方量はなぜ減らないのか

－「需要」という観点から－

○櫛原克哉（東京通信大学）

3-3 コロナ禍における“生きやすさ”の発見

－「コロナさんと一緒」をテーマとした当事者活動の展開－

○杉本 洋（新潟医療福祉大学）・五十嵐紀子（新潟医療福祉大学）

3-4 薬物依存者の回復ワークの諸相

－認知行動療法グループワークのインタラクション分析に向けて－

○南 保輔（成城大学）

3-5 トランスナショナルな運動に参加する動機の変化

－欧州の精神障害者の組織に注目して－

○伊東香純（立命館大学）

看護・ケア研究部会総会	12:00～12:30	
-------------	-------------	--

総会・授賞式	12:30～13:30	
--------	-------------	--

RTD 7	14:00～16:00	
-------	-------------	--

R-7 アトピー性皮膚炎の掻破行動に関する社会学的検討

—「治療選択論」を越えて「身体論」へ?—

企画者：檜田美雄（神戸市看護大学）

話題提供者：加戸友佳子（神戸大学）

話題提供者：大日義晴（西武文理大学）

コメンテーター：南 保輔（成城大学）

RTD 8	14:00～16:00	
-------	-------------	--

R-8 「納得」「熟議」「共感」—対人支援のキーコンセプトを考える

—「問題解決」「意思決定」を前提としないケアの構想—

企画者：松繁卓哉（国立保健医療科学院）

話題提供者：牛山美穂（大妻女子大学）

孫 大輔（鳥取大学）

畠山洋輔（東邦大学）

指定討論者：吉田澄恵（東京医療保健大学）

RTD 9	14:00～16:00	
-------	-------------	--

R-9 HPVV 論争において零れ落ちる諸課題を問う

—ワクチンの女性化、戸惑う医師、個人と集団の利益衡量のあわい、
「科学的」とは何か、二重三重に苦しむ接種被害者など—

企画者：佐々木香織（小樽商科大学）

話題提供者：井上芳保（北洋大学）

竹中 健（九州看護福祉大学）

佐々木香織（小樽商科大学）

一般演題／口演	14:00～16:00	
---------	-------------	--

●セッション4 臨床の風景

司会：佐藤哲彦（関西学院大学）

-
- 4-1 模擬医療通訳におけるビデオ・エスノグラフィーを用いた分析の試み
 ー通訳者の相互行為能力・方法の教育方法の構築に向けてー
 ○飯田奈美子（日本学術振興会）・樫田美雄（神戸市看護大学）
- 4-2 訪問看護師からグリーフケアを受けた独居高齢者の経験
 ○平野和美（千葉科学大学）
- 4-3 医療統制装置としてのトリアージに関する一考察
 ーいわゆる「新型コロナウイルス感染症」を題材にー
 ○村岡 潔（岡山商科大学／西本願寺あそか診療所）
- 4-4 多剤大量処方問題の基盤としての「廃人化バイアス」
 ー精神科医へのインタビューからー
 ○澤田千恵（県立広島大学）
- 4-5 精神科医の診察態度に対する当事者・家族の思いと性別による特徴
 ー自由回答項目の計量テキスト分析からー
 ○樋口麻里（北海道大学）

一般演題／口演	14:00～16:00	
---------	-------------	--

●セッション5 変わりゆく医療制度

司会：松田亮三（立命館大学）

5-1 COVID-19 のクラスター発生に関わる京都産業大学関係者に対する誹謗中傷や
励まし等に関わる実態調査

ー学生・教職員に対するアンケート結果ー

○後藤基行（立命館大学）・堀川 諭（京都産業大学）

5-2 新型コロナウイルス対応に見る中国医療保険の問題

○賈 子申（佛教大学）

5-3 戦後日本における民間病院の福祉的機能

○佐藤沙織（尾道市立大学）

5-4 医薬品の価値の社会的構築

ー脂質異常症治療薬を事例としてー

○田代昌彦（東京都立大学）

5-5 自発的な遺体提供と医の倫理の結びつき

ー1950-60年代の金沢大学医学部における解剖学者の献体運動からー

○鈴木将平（中央大学）